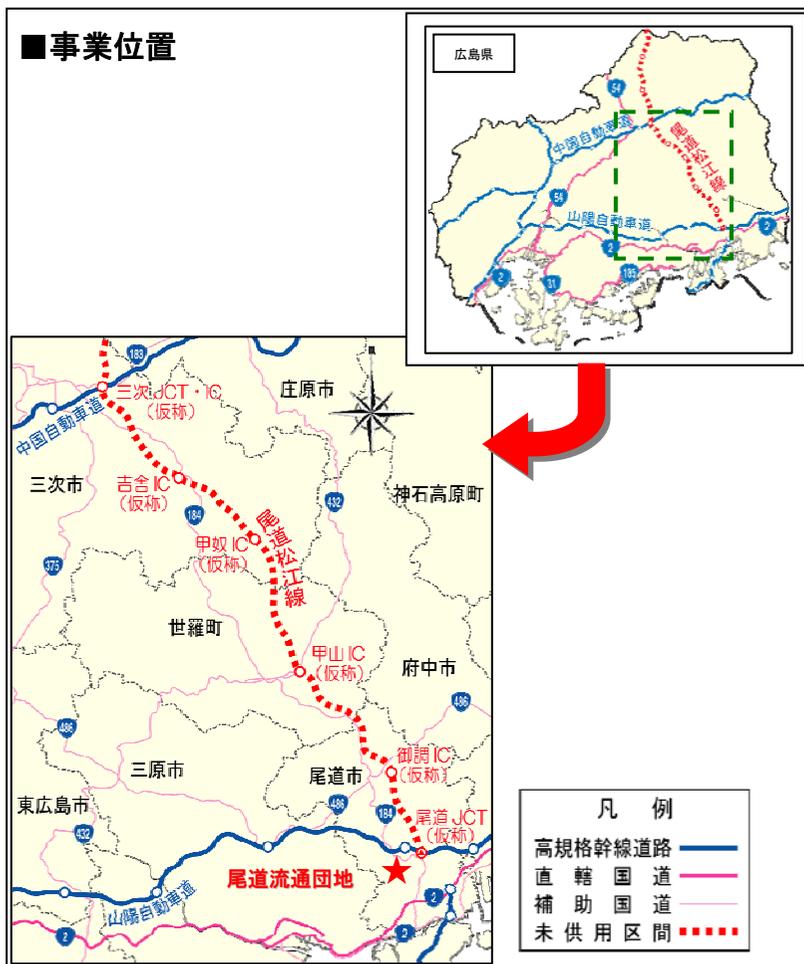


尾道松江線の事業進捗に伴って、企業進出が活性化

- 尾道流通団地では入居企業が順調に増加しており、ほぼ完売状態(分譲率96% 面積ベース)。
- 拠点間のアクセス性向上による企業活動の効率化が期待されている。

■事業位置



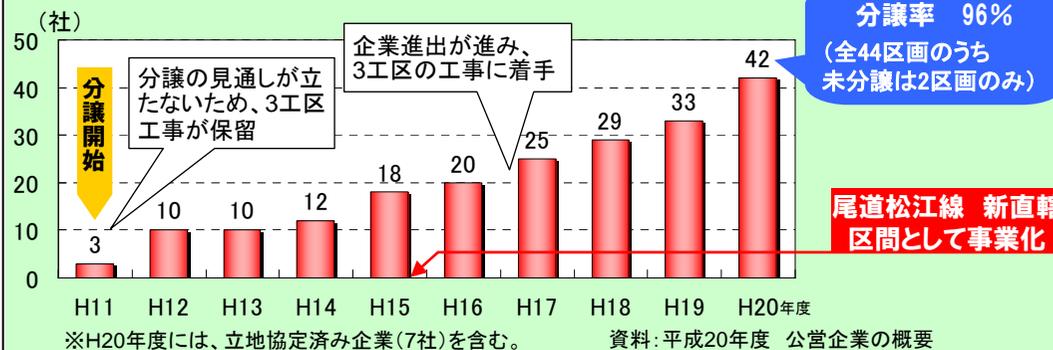
■企業の進出状況



完成時期	平成19年4月
団地面積	76.6ha
分譲総面積	31.6ha
分譲済面積	30.4ha

※H21.2末現在
資料:広島県産業振興部企業立地課

尾道流通団地への企業立地状況



雇用の増加

『尾道流通センター(仮称)がH21年中に稼働開始予定であり、パートの雇用を850人(将来的には1,000人)規模で予定している』(平成21年10月稼働予定)
(日本生活協同組合連合会へのヒアリング結果)

【尾道流通センター(仮称)】



敷地面積	8.1ha
駐車場	大型 115台 小型 525台
従業員	社員 120人 パート1,000人

製造・在庫管理の効率化

『新尾道工場(尾道市)と三次工場(三次市)は連携をとりながら製造を行っており、尾道松江線によるアクセス性の向上によって、製造、在庫管理等の効率化を期待している。』(平成17年11月稼働)

(丸善製薬株式会社へのヒアリング結果)

